

## CAREが連帯して取り組む緊急・復興支援事業

—災害や紛争下において、より弱い立場におかれる  
女性、子ども、高齢者の命と尊厳を守る—

### 継続事業 ウクライナ危機緊急支援事業

ウクライナ侵攻が長期化するなか、影響を受ける人々、特に子どもたちの心のケアはとても重要です。そのようななか、日本の皆さまからのご寄付を、606個のギフトセットに変えて、最前線のドネツク州とドニプロペトロウシク州に暮らす子どもたちに、パートナー団体を通じて届けました。ギフトの中身は、粘土やパズル、アートキット、ボードゲーム、スポーツ用品、そしてお菓子など。子どもの年齢や興味、多様性に合わせて準備されました。さらに、障害のある子どもたちには、それぞれのニーズに合わせたギフトを贈りました。



### 新規事業 ガザ人道危機緊急支援事業

2023年10月7日の紛争勃発以降、CAREは、パレスチナの避難民の人々に、命を繋ぐための支援を提供しています。ただ、ガザ地区への物資搬入は極めて限定的で、域内での人道支援ニーズは甚大となっています。CAREは、現地パートナー団体と協力し、紛争発生以降2024年12月までに850,000人（そのうち半数以上は女性）に支援を届けました。その数は、ガザで支援を必要としている人々の45パーセントに相当します。エジプトやヨルダンなどの隣国や他のCAREチームとも連携し物資を事前に配置し、治安やアクセス状況が許す限り、いつでも対応の規模を拡大できるようにしています。



### 新規事業 ミャンマー地震被災者緊急支援事業

2025年3月28日に発生したミャンマー中部を震源とするM7.7の地震とM6.9の余震により、死者3,800人、負傷者5,100人、被災者は推定610万人と甚大な被害が生じました。被災者の命と尊厳を守るため、CAREは、発災直後からパートナー団体と協力し、避難所での医療キット配布等、およそ2か月間で、11,000人近くの被災者に支援を届けました。今後は、女性や子どもを対象とする尊厳キットや安全な場所を引き続き提供するとともに、性に基く暴力(GBV) 予防に関する普及啓発活動を行っていきます。

